

## 市長定例記者会見（R1. 7. 3）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第2回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加した議案3件を含む18件の議案について審議いただきました。

その主なものとして、「令和元年度一般会計補正予算」や「市税条例等の一部改正」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図ってまいります。



それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

**まず1点目は、「えにわ健康チャレンジスタンプラリー」についてであります。**

平成28年度より試行的に実施されて参りました「歩くことを通したまちづくり事業」であります。本年度より本格実施されます。

この事業は、「歩くことが楽しくなる仕掛けづくり」や「歩くことを支援する仕組みづくり」を展開することで、市民の健康意識や健康増進活動へ結びつけ、さらには健康づくりを推進するまちづくりへ繋げることを目的に実施しております。

その取り組みの一つとして7月1日から10月31日まで行われる「えにわ健康チャレンジスタンプラリー」は、市内39箇所ある「まちなか休憩所」を歩いてスタンプを集めたり、また、本年度からは「がん検診」や人間ドックなどの「各種検診」を受診した方もスタンプの対象とするなど、新たな取り組みも行います。

そのほか、7月26日（金）には、恵み野地区を歩きながら、花のきれいなお庭を巡る「えにわ花ウォーク」、さらには9月29日（日）には、「えにわ健康フェスティ

バル」において、「えにわウォークラリー」など「歩くことを通した事業」が実施されます。

これまでの参加者数ですが平成 28 年度は約 2, 0 0 0 人でありましたが、平成 30 年度には約 4, 0 0 0 人と倍になっています。協力団体は平成 28 年度の 1 0 団体が平成 30 年度には 2 5 団体、休憩所の利用者数は平成 28 年度の 1, 2 0 0 人が平成 30 年度には 1 万人を超え、年々増えております。市民の皆様が積極的に歩くことによって、健康の維持・増進につながっていると考えております。

## **2 点目は、「風しんの追加的対策の実施」についてであります。**

今般、大都市圏を中心とした風しん患者の増加に対し、本年 2 月、国が予防接種法を改正し、これまで公的接種を受ける機会がなく抗体保有率が低い年代に対する緊急的追加対策を実施するとしたことを受け、本市においても速やかに取り組んだ状況についてご報告いたします。

この対策は、昭和 3 7 年 4 月 2 日生まれから昭和 5 4 年 4 月 1 日生まれの男性を対象に、今後 3 カ年計画で段階的に取り組むとされ、今年度の対象である昭和 4 7 年 4 月 2 日生まれから昭和 5 4 年 4 月 1 日生まれの男性、3, 6 4 0 人に、市より抗体検査およびワクチン接種の無料クーポン券を送付いたしました。

目標は、国が掲げる東京オリンピック・パラリンピック開催の 2 0 2 0 年 7 月までに風しんの排除を達成することです。対象の方々におかれましては、速やかに風しん抗体検査を受けて頂きますようお願いするところであります。

## **3 点目は、「旅券（パスポート）窓口の開設」についてであります。**

北海道より権限移譲を受け、7 月 1 日（月）から、市役所 1 階市民課に旅券の申請・交付窓口を開設いたしました。

本市に住民登録があり、本籍地としている市民の方は、必要な戸籍証明書類の取得と旅券申請の手続きが一括して行えます。

旅券の申請と受け取りで、札幌市の「北海道パスポートセンター」まで、出向なくても済むことから、市民の負担軽減、利便性から、市民サービスの向上が図られます。

## **4 点目は、「えにわプレミアム付商品券事業」についてであります。**

消費税の引き上げが非課税世帯や子育て世帯に与える影響を緩和し、市内の消費を喚起・下支えするためにプレミアム付商品券を国の制度に沿って発行いたします。

今回は、恵庭市が主体となり各業務を委託しながら事業を実施し、500 円の券を 10 枚、5, 000 円分で 1 綴りとし、4, 000 円で販売、最大 5 回分、合計 25, 000 円分を購入することがで

きます。

購入には引換券が必要となりますが、非課税世帯については、審査を経てから引換券の発送となり、3歳半未満の子育て世帯については、直接、引換券を送付する予定となっております。

9月上旬以降、引換券を発送し、9月17日から来年1月31日まで市内の9つの郵便局で商品券を販売する予定です。

商品券が利用できるのは、10月1日から来年の2月29日までとなっており、使用できる店舗は、現在募集中(申し込みのあった店舗数は現在20～30店舗)でありまして、商品券の販売が始まってから、随時お知らせしてまいります。

## 5点目は、「総合防災訓練」についてであります。

今年度は4年に1度の総合防災訓練の年ですが、実施予定日の9月4日に向けて準備を進めているところであります。

訓練の内容としましては、昨年の震災対応の検証を意識しながら、訓練想定を大規模地震とし、現在14の個別訓練計画を作成しているところであり、それらを連動させながら全体として一体的な総合訓練となるよう調整しているところであります。

個別訓練計画の作成にあたっては、各災害対策部が昨年の災害対応において課題となっていた事項などが、今回の訓練の中で改善・検証できるような内容となるよう進めているところであります。

例えば、情報伝達訓練では、昨年の胆振東部地震でのブラックアウトの影響もあり行政と町内会・自治会とがうまく連絡を取り合うことができなかったという事態が生じたことから、初めてメールによる町内会との情報伝達訓練を実施する予定であります。

また、避難所の運営についてもいくつか課題があったことから、職員については事前に避難所運営の研修を行い、しっかりと地域の方との協働による避難所運営となるような訓練計画の作成を進めているところであります。

訓練計画全体については、7月中には取りまとめることとしていますが、総合防災訓練には多くの市民の方に参加していただきたいと願っているところであります。

以上、5項目について説明させていただきました。

詳細については、各担当からお聞きください。

## ●質疑応答

### 「えにわプレミアム付商品券事業」について

記者) プレミアム付商品券事業の実施店舗の目標数は？これから実施店舗を募集するにあたりどのような対策を行っていくのか？

商工労働課長) 平成27年度の商品券事業の参加店舗が約400店舗でしたので、概ね同規模の参加店舗を想定しています。募集にあたっての対策として、参加事業者一覧に掲載するための募集期間を7月5日までとしています。7月中までの期間延長を考えているところです。また、平成27年度に参加いただいた事業者に対して直接ダイレクトメールを送付する予定です。

記者) 道内の他自治体でも行っているのか？また、恵庭市ならではの特色等はあるのか？

商工労働課長) 基本的に国の事業で補助金を活用して実施していることから、全ての自治体で実施。特色等は特にありません。発行額は最大で4億円で、1万6千世帯を想定して地域の消費拡大につなげることができればと考えています。

### 「イトーヨーカ堂の閉店」について

記者) イトーヨーカ堂が閉店を検討していることについて、市としての受け止めはどうなのでしょう？

市長) 正式に閉店という具体的なお話を直接先方から聞いてはいないですが、ヨーカ堂は恵み野開発時に新店舗を開いたことから、閉店となれば雇用面も含めて市民生活への影響が大きいので、担当部署から存続いただきたい旨と情報提供の申し入れを行っています。

記者) 具体的にはまだ何も動いてはいないということでしょうか？

市長) 発表や通知があれば、従業員の行き先等について伺い、市としてできる方策を考えていきます。

記者) 9月閉店を予定しているとの情報がありますが、残り2ヶ月となると何かしらの対策をするとしても準備等に遅れが生じることもあるかと思いますがどうでしょうか？

市長) まだ時期についてなどの報告はありませんが、しっかりとした情報提供をお願いしているので、長年営業を続けてきた市への影響などについては、ヨーカ堂としても理解していると思っています。

記者) 存続を申し入れているとのことだが、市に具体的な情報が入っているのか？

市長) 具体的な情報はなく、新聞報道がなされたことから、担当部署を通して口頭でイトーヨーカ堂の本部に存続の申し入れを行っているところです。

記者) 書面での存続を要望することは検討しているか?

市長) 閉店を視野に入れて検討しているという情報以外になく、方針が明らかになっていないので、まだそのような検討はしておりません。

記者) 市にとってヨーカ堂はどんな施設で、どのような期待があったか?

市長) 開店から37年間、恵庭の商業の拠点として市民生活を支えてきていただきました。また、選挙や花のイベントなどでも協力いただき、恵み野地区のまちづくりに貢献していただいていると思っていますし、今後も存続して欲しいと願っています。

記者) 仮定での話となるが、ヨーカ堂から何かしらのアクションがあった場合は、市としての対応やメディアへの発表機会などを考えているか?

市長) そのような状況が必要となればお知らせすることになると思います。

記者) 恵庭へのまちづくりへの影響は大きいと思うが、駅前のにぎわいなど。

市長) 別の店舗が入ることも考えられるが、空き店舗となるといろいろな動きが出てくる可能性はあると思っています、できれば存続してほしいと思っています。

記者) 閉店となった場合には、まちづくりの政策を見直すこともあるのか?

市長) まちづくりの政策を見直すということはありません。

### 「恵庭市の人口」について

記者) 人口7万人について、今年度中の達成は見込んでいるのか?

市長) 達成できればと思っています。平成30年の11月が今までの最高人口で6万9,866人。今は昨年同時期より180人程増えている。同様のペースでいくと11月くらいに達成できればと思っていますが、思うように伸びていないので、年内に達成できればと考えています。市になった昭和45年が3万5,000人くらいでしたので、50年でおおよそ倍になっていて、なんとか達成できればと思っています。

以上を持ちまして、定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。

